

特別支援学級 生活単元学習指導案

対 象 3組石田学級・佐々木学級 男4名 女2名 計6名

指導者 石田 晴美 (T1) 佐々木 知栄子 (T2)

1 単元名 ケーキ屋さんを開こう

2 単元について

(1) 児童について

本校は、知的障がい学級と自閉・情緒障がい学級を開設しているが、知的障がい、自閉症スペクトラムなどの主障がいの他、集中力が途切れやすかったり、文字の読み書きに困難を抱えていたり他障がいを併せ持っている児童が多い。よって、学習効果の向上と学習内容の定着を目指して自閉・情緒障がい学級の教育課程にも生活単元学習を設定し、内容によっては知的障がい学級との合同学習を実施している。児童への支援のニーズは多岐にわたるが、各自の特性に合わせた学習課題を設定したり、環境調整を行ったりすることで、明るく生活し意欲をもって学習に取り組むことができている児童が多い。

しかし、集中力の短さや、集団活動への参加に関わる苦手さ等の特性から、場に合った言動ができなかったり、自分の気持ちをうまく伝えることができなかったりすることもある。そのため、自己評価が低い傾向があり、「できない。」「無理。」という言葉もよく聞かれる。

よって、「自分のよさが分かり自己選択しながら主体的に活動できる児童」「自分の気持ちや考えを適切に表現できる児童」を育てたいと考えた。

(2) 教材について

本単元「ケーキ屋さんを開こう」は、学級園で自分たちが育てたかぼちゃを活用して展開する。児童は昨年もかぼちゃを栽培し、かぼちゃホットケーキやかぼちゃカップケーキを作って食べた経験がある。今年もかぼちゃを調理して食べることを楽しみに栽培活動に励み、10月の誕生会では、収穫したカボチャを調理し、友達の誕生日を祝って楽しく食えることができた。

今回、「ケーキ屋さん」を開き、販売活動をするのは初めてであるが、道徳の学習とも関連させ、売り上げを豪雨災害や地震災害への義援金とするという目的意識をもって学習を展開することで意欲的に活動に取り組むことができると考える。

また、「3組ががんばろう会をしよう」や「お誕生会をしよう」などの学習で、自分達でできる役割を分担し、児童中心の集会活動を行ってきた経験をもとに、自分ができる仕事ややりたい仕事を選んで意欲的に取り組むことができる題材であると考えた。

本単元で身に付けた力は、「12月のお誕生会をしよう」「2学期ががんばったね会をしよう」「卒業・進級を祝う会をしよう」の単元へ生かされていく。

(3) 指導について

自分のよさが分かり自己選択しながら主体的に活動できるようにするために、様々な活動の中から自分が得意な活動や挑戦してみたい活動を選んで取り組む自己選択の場面を設定する。また、毎時間の終末場面で、自分や友達のよさや頑張りを振り返りシートへ記入したり発表したりすることで、自分や友達のよさに気付くことができるようにする。この自己理解が次の自己選択につながるからである。

さらに、自分の気持ちや考えを適切に表現できるようにするために、計画を立てる場面やケーキ屋さんを展開する場面では、伝えることに必要感をもち、話し合い活動や協力して活動することができるようにする。

発達段階	自己理解の内容	発達段階	自己選択の内容
I	・自分のよさに気付く。 ・先生や友達に褒められたり、認められたりし	I	・自分の好きなもの、興味のあるものを選ぶ。

	ながら，自分に自信をもつ。		
II	・自分と友達によさに気付く。 ・先生や友達に褒められたことをもとに，自分のよさへの理解をより一層深める。	II	・自分の好きなもの，興味のあるものを選ぶ。 ・自分に合っていると思うものや頑張ればできそうなものを選ぶ。
III	・自分と友達によさに気づき，そのよさを互いに認め合おうとする。 ・先生や友達に褒められたことをもとに，自分や友達によさへの理解をより一層深める。	III	・自分の特性に合っていると思うものを選ぶ。 ・自分がやったほうがよいと思うもの，自分の成長のために挑戦した方がよいものを選ぶ。
IV	・周りからの意見を素直に受け入れて，自分を知らうとする。	IV	・自分のスキルアップのためにやるべきことを選ぶ。

3 単元の目標

○ケーキ屋さんを成功させるために，主体的に自分の役割を果たすことができる。

(1) 関心・意欲・態度

ケーキ屋さんを成功させるために，自分でやりたいことを選んで主体的に活動しようとする。

(2) 自己選択

自分のよさが分かり，自分に合っていると思う役割や頑張ればできそうな役割を自己選択することができる。

(3) 自己理解

活動を通して，自分や友達によさや頑張りに気付くことができる。

4 指導と評価の計画

時	学習内容	主な評価規準
前単元	「3組がんばろう会」「誕生会」 「2学期がんばろう会」	自分がやりたいことを選んで活動している。(関) 自分ができることを選んでいる。(選) できることがある。やりたいことがある。(理)
1	とれたかぼちゃで何ができるかな。 かぼちゃの活用方法を話し合う。	かぼちゃを使ってやってみたいことを見付けようとしている。(関) かぼちゃを使ってやりたいことを見付けている。(選) やってみたいことがある。(理)
2	ケーキ屋さんの計画を立てよう。 必要なものを出し合い，準備の分担を決める。	自分ができる分担を選ぼうとしている。(関) 自分ができる分担と理由を書いている。(選) 得意なことがある。好きなことがある。(理) 友達の得意なこと・好きなことを知っている。(理)
3 ～10	ケーキ屋さんの準備をしよう。 ・試作品を作って試食する。(2) ・ポスター・チラシ・看板・招待状を作る。(2) ・ケーキ屋さんに必要な係や必要なことを考えて係の分担を決める。(1) ・ケーキ屋さんの自分の係の準備や練習をする。(3)	自分のできることが分かり活動している。(関) 高学年 下学年の世話をしようとしている。(関) 下学年 上学年の指示を聞いて活動しようとしている (関) 自分でできる方法で活動している。(選) 自分の得意なこと・好きなことを織り交ぜた方法で活動している。(選) 自分や友達の良いところや頑張りに気付いている。(理)
11 【本時】	リハーサルをしよう。 ・ケーキ屋さんの手順を確かめる。 ・販売の練習をする。	お店屋さんに必要なことに気を付けながら，かぼちゃケーキを販売する練習をしようとしている。(関) 自分でできる方法で活動している。(選) 自分の得意なこと・好きなことを織り交ぜた方法で活動している。(選) 自分や友達の良いところや頑張りに気付いている。(理)

12 ～13	かぼちゃケーキを作ろう。(2)	自分の分担を進んで行おうとしている。(関) 自分でできる方法で活動している。(選) 自分の得意なこと・好きなことを織り交ぜた方法で活動している。(選) 自分や友達のよいところや頑張りに気付いている。(理)
14	先生方にかぼちゃケーキを売ろう。	自分の分担を進んで行おうとしている。(関) 自分でできる方法で活動している。(選) 自分の得意なこと・好きなことを織り交ぜた方法で活動している。(選) 自分や友達のよいところや頑張りに気付いている。(理)
15	売ったお金を計算しよう。	自分の分担を進んで行おうとしている。(関) 自分でできる方法で活動している。(選) 自分や友達のよいところや頑張りに気付いている。(理)
16	ケーキ屋さんを振り返ろう。	自分や友達のよいところや頑張りに気付いている。(理)
中学 校	将来の職業生活・社会自立	自分のスキルアップのためにやるべきことを選んでいる。(選) 周りからの意見を素直に受け入れて、自分を知らうとしている。(理)

5 本時の指導

(1) 目標

ケーキ屋さんに必要なことに気を付けながら、かぼちゃケーキを販売する練習ができる。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	ケーキ屋さんに必要なことに気を付けながら、かぼちゃケーキを販売する練習をしようとしている。
自己選択	自分でできる方法で活動している。
	自分の得意なこと・好きなことを織り交ぜた方法で活動している。
自己理解	自分や友達のよいところや頑張りに気付いている。

(3) 展開

	学習活動	●指導上の留意点◎評価	教材教具
導 入 5 分	1 前時想起 2 めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> たくさん買ってもらえるケーキ屋さんにしよう。 </div> 3 学習の流れを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <学習のじゅんじょ> 1 ケーキ屋さんの仕事の順序 2 自分が決めた係の練習 3 ケーキ屋さんの練習 4 ふりかえり </div>	●かぼちゃケーキを売って、豪雨・地震災害に募金することを確認する。 ●高学年がリーダーとなって活動することを確認する。 ●児童が安心して学習に取り組むことができるために学習の流れを掲示する。	<学習のじゅんじょ>の掲示物
展 開 32 分	4 活動 (1) 自分が決めた係の練習 ・売り子係(接客の言葉) 「いらっしゃい。」「いらっしゃいませ。」「1つ〇〇円ですよ。」「おいしいですよ。」「ケーキ〇個ですね。」「ありがとうございました。」 ・計算係(代金を計算する) 「〇個で〇円です。」	●自分や友達のよいところやがんばりに気付けるように、適宜、声かけをする。 ●手元に言葉や順序を示す手順表を準備することにより、活動がスムーズにできるようにする。 ●代金は暗算で計算するが、おつりは電卓を使ってよいこととし、正しく計算できるようにする。	時計 言葉カード 手順表 電卓

